

ひょうか  
評価コメントとアドバイス

<p>げんご きのう 言語機能</p>	<p>はん にち ふくざつ こと せつめい ほうこく 半日のスケジュールなど、複雑でない事の説明や報告ができるレベルです。 い い はな じょうほう りょう おお 言いたいことをすべて言うことはできていませんが、話せる情報の量はかなり多いです。 ■アドバイス みじか みちか わだい ほう あつ きょうざい ようい おんどく みみ 短いスピーチ(身近な話題のものの方がよい)を集めた教材を用意してください。それを音読したり、耳で聴いて文字を見ないで繰り返したりして、話の展開の仕方を学びましょう。</p>
<p>テキストタイプ</p>	<p>ぶん ひょうげん じゆう つか かんが はな なが ぶん はな むずか 文をつなげた表現を自由に使うことができます。考えながら話すため、長い文をたくさん話すことは難しいレベルです。 どうし いじょう ふく ぶん つく はな かつ 動詞を2つ以上含む文を作ろうとすると、まとまりのない話し方になってしまうことがあります。 ■アドバイス せつぞくし ぶん ぶん かんけい めいかく うえ じゅうよう はなし なが かんが 接続詞(「だから」「しかし」など)は文と文の関係を明確にする上で重要なものです。話の流れを考えながら、適切な接続詞を選ぶようにしましょう。</p>
<p>ぶんぽう かい 文法と語彙</p>	<p>うけつけ しゃない でんわ と つ 受付や社内での電話の取り次ぎができるレベルです。 みじか ぶん せいかく つく なが ぶん ちい まちが おお 短い文は正確に作るができます。しかし、長い文では小さな間違いが多くなります。 ■アドバイス ひょうげん あんき つか ぶんけい ふ いくつかの表現を暗記して、スピーキングで使える文型を増やしていきましょう。</p>
<p>はつおん りゅうちよう 発音・流暢さ</p>	<p>はな かいわ ゆっくり話すことができれば、会話ができるレベルです。 な ぶんけい たんご つか はな りゅうちよう お 慣れない文型や単語を使って話すとき、流暢さが落ちます。 ■アドバイス みじか ちゅうしん かいわ こ い ないよう はな きかい も くだん ふくざつ 短いやりとりが中心の会話だけでなく、込み入った内容を話す機会を持ちましょう。普段から複雑な文型を使う回数を増やしてください。</p>
<p>たいくうひょうげん 待遇表現</p>	<p>とりひきさき こうしょう せつきやく しごと けいご つか むずか 取引先との交渉や接客など、仕事で敬語を使うのは難しいレベルです。 あんき けいご ていけい く もう まい つか 暗記した敬語の定型句(「～と申します」「～から参りました」など)を使うことはできています。しかし、 そんけいご けんじようご かたち か むずか けいご とくべつ かたち つか 尊敬語、謙譲語に形を変えることは難しく、敬語の特別な形もあまり使えません。 ■アドバイス きほんてき けいご つか つぎ ぼめん そうてい けいご はな れんしゅう 基本的な敬語を使うことができます。次に、いろいろなビジネス場面を想定して、敬語で話す練習をしましょう。</p>